

平成30年度 事務事業評価シート

事務事業名		魅力ある商店街育成支援				所管	文化産業観光部 産業振興課			
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	22	計画事業名	魅力ある商店街育成支援		事業の開始・終了年度			
	長期総合計画体系	[基本目標] I-1. 産業の活性化					[事業開始] 平成 1 1 年度			
		[小 柱] (2)地域経済の活性化					[終了予定] - 年度			
		[施 策] ①商店街の意欲を活かした振興								
	根拠法令等	要綱	〔法令等名〕			台東区商店街振興事業実施要綱、台東区商店街振興事業補助金交付要綱				
	事業対象	直接の対象 : 台東区商店街の届出に関する取扱要領に定める商店街名簿に登録された商店街 最終的な対象 : 同上								
	事業目的	地域に貢献し、今後の商店街活性化のモデルとなるような、新時代に対応した商店街の自主的かつ意欲的で独自性のある企画・提案や、講演会・研修会等の活動に対し経費の一部を補助することにより、活性化を図る。								
事業内容 [29年度]	①新時代に対応した独自性のある事業(空き店舗活用、新商品開発、AED(自動体外式除細動器)の設置など) ②商店街が自主的に行う講演会・研修会等の活動 ・補助率:1/2(東京都の補助対象となった場合は区と都を合わせて2/3以内) ・限度額:①1000万円(区・都それぞれの限度額) ②講演会 任意30万円 法人40万円 複数60万円(区・都それぞれの限度額)									
委託の有無	なし	委託内容		なし						
補助金の有無	都									
事務事業の実績	種 別	指標の名称	単位	31年度 目標値	27年度 実績	28年度 実績	29年度 実績 目標値 達成率			
	活動指標	助成件数	件	3	2	2	3	3	100.0%	
		成果指標	講演会・研修会等参加者数	人	50	-	-	-	-	-
	決算額 (単位:千円)				27年度		28年度		29年度	
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			472		738		1,771	
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			1,203		1,203		2,933	
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			0		0		0	
		総経費			472		738		1,771	
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			1,675		1,941		4,704	
		その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			0		0		0	
一般財源(区負担額)			236		369		636			
前回評価から29年度に改善した事項	本事業は、商店街の魅力を高めることにより活性化が促されることを目的としており、効果的に事業が実施されるよう、企画段階から進捗を把握しつつ、講演会の質的向上に資する助言等きめ細やかな支援を実施した。									
評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	3	商店街からのニーズがある。また、先駆的な取り組みを行う商店街事業を支援することは、更なる商店街活性化を図るために必要な事業である。							
	効率性	3	商店街が行う事業に対し、その事業経費の全額を補助するのではなく、一部を補助することによって、商店街の自主性を損なわず、最小限の経費で支援を実施できている。							
	手段の適切性	3	補助事業の選定にあたっては、学識経験者・有識者・中小企業診断士等から構成される審査会で審査したうえで、行っている。また、商店街により事業内容が大きく異なるため、計画から実施に至るまで適宜指導・助言を行い、効果的な事業実施を図っている。							
目的達成度	3	助成件数が目標に達し、商店街の自主的・意欲的・独自性のある企画・提案等に対する補助メニューとして、商店街振興に十分に資するものとなっている。								
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性				
商店街が抱える課題に対応した独自性ある事業に対する補助制度であり、商店街の更なる活性化のために必要な事業である。適切かつ効率的に実施されており、目標も達成している。引き続き、東京都と連携しながら事業を維持していく。						維持		拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		